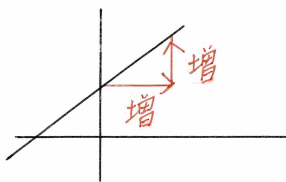
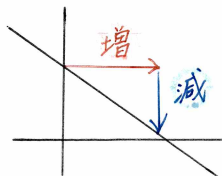


◇ $y = ax + b$ のグラフの特徴

- ・ a (傾き) が同じグラフは平行
- ・ b (切片) は y 軸との交点
- ・ $a > 0$ のとき、右上がり
(x が増加すると y も増加)



- ・ $a < 0$ のとき、右下がり
(x が増加すると y は減少)



Ex. ア. $y = \frac{1}{2}x + 2$ イ. $y = -\frac{1}{2}x + 2$ ウ. $y = 2x - 8$
 エ. $y = \frac{1}{2}x - 2$ オ. $y = -\frac{1}{2}x - 2$ カ. $y = -2x + 8$

(1) 平行になるもの (2組)

アとエ, イとオ //

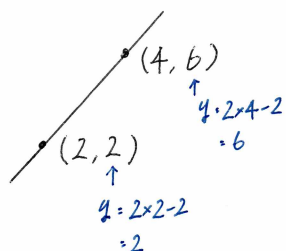
(2) y 軸上で交わるもの (〃)

アとイ, エとオ //

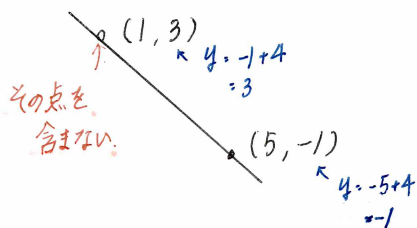
(3) 右下がり (全て)

イ, オ, カ //

◇ 変域とグラフ

例(1) $y = 2x - 2$ のグラフで $2 \leq x \leq 4$ のときの y の変域 $a > 0$ 右上がり

$$2 \leq y \leq 6$$

(2) $y = -x + 4$ で $1 < x \leq 5$ のときの y の変域 $a < 0$ 右下がり

$$-1 \leq y < 3$$

① ②

$$1 < x \leq 5$$

$$-1 \leq y < 3$$